

知事・副知事への報告の概要

報告日	令和7年4月18日月曜日（副知事） 令和7年4月23日水曜日（知事）														
報告者	環境政策課（環境管理運営事務局）														
報告内容	滋賀県庁環境マネジメントシステム（EMS）の実施状況														
<p>○ 知事、副知事に令和6年度 EMS 実施状況について報告した。</p> <p>（環境経営会議の開催については、業務見直しにより、平成29年度から知事・副知事への報告および、その報告結果の庁内共有をもって開催に代えることとしている。）</p> <p>1 基本方針に基づく各取組の進捗状況</p> <p>①基本方針1 総合的な環境保全施策の推進</p> <table border="1"> <tr> <td>目標値</td> <td>各分野別計画の進捗状況の評価を活用するとともに、参考指標を確認するなどして進行管理を行う。</td> </tr> <tr> <td>令和5年度実績</td> <td>4つの基本施策の柱ごとに、目標である「環境と経済・社会活動をつなぐ健全な循環の構築」に向けた進捗状況を総合的に点検した。結果は、環境審議会環境企画部会に報告するとともに、滋賀の環境（環境白書）へ掲載し県民や関係機関と共有した。</td> </tr> </table> <p>②基本方針2 事業活動における積極的な環境配慮の実施</p> <p>(1) 環境負荷を低減した公共事業の実施</p> <table border="1"> <tr> <td>目標値</td> <td>「公共事業における環境配慮指針」を活用し、<u>全ての事業で計画、設計、施工の各段階で点検を実施する。</u></td> </tr> <tr> <td>令和5年度実績</td> <td>○環境配慮指針に基づき、計画、設計、工事の各段階でチェックリストにて環境への配慮事項を点検した。 ○年度末に事業主管課にて、自然公園区域内における業務等308件を抽出し、発注機関における点検状況を確認し、全て目標値を上回った。 ○事業ごとに環境負荷の低減にかかる対策（生物の移動性への配慮をふまえた設計、在来樹木の保全等）を実施した。</td> </tr> <tr> <td>令和6年度実績見込み</td> <td>○発注機関において、環境配慮指針に基づくチェックリストを活用して、点検を実施した。 ○点検を通じて、適宜、生物環境アドバイザーへの相談を行った。 ○環境配慮指針に関する研修を実施し、職員の環境に対する専門知識の向上を図った。 ○年度末に、事業主管課にて、発注機関における点検状況を確認。</td> </tr> </table> <p>(2) 公共事業における生物環境への配慮の実施</p> <table border="1"> <tr> <td>目標値</td> <td>特に専門性の高い生物環境への配慮を図るため、<u>学識者から指導・助言を求め事業執行に反映する。</u></td> </tr> <tr> <td>令和5年度実績</td> <td>○自然公園区域内における事業など13事業を対象として、調査・設計・施工の各段階で、現場特性に応じた着目点の確認や、必要に応じて貴重植物の移植、構造物の仕様の工夫といった環境保全措置を講じる等、アドバイザーからの指導・助言内容を事業に反映させた。 ○過年度に実施した環境保全措置の効果を関係者で共有した。</td> </tr> </table>		目標値	各分野別計画の進捗状況の評価を活用するとともに、参考指標を確認するなどして進行管理を行う。	令和5年度実績	4つの基本施策の柱ごとに、目標である「環境と経済・社会活動をつなぐ健全な循環の構築」に向けた進捗状況を総合的に点検した。結果は、環境審議会環境企画部会に報告するとともに、滋賀の環境（環境白書）へ掲載し県民や関係機関と共有した。	目標値	「公共事業における環境配慮指針」を活用し、 <u>全ての事業で計画、設計、施工の各段階で点検を実施する。</u>	令和5年度実績	○環境配慮指針に基づき、計画、設計、工事の各段階でチェックリストにて環境への配慮事項を点検した。 ○年度末に事業主管課にて、自然公園区域内における業務等308件を抽出し、発注機関における点検状況を確認し、全て目標値を上回った。 ○事業ごとに環境負荷の低減にかかる対策（生物の移動性への配慮をふまえた設計、在来樹木の保全等）を実施した。	令和6年度実績見込み	○発注機関において、環境配慮指針に基づくチェックリストを活用して、点検を実施した。 ○点検を通じて、適宜、生物環境アドバイザーへの相談を行った。 ○環境配慮指針に関する研修を実施し、職員の環境に対する専門知識の向上を図った。 ○年度末に、事業主管課にて、発注機関における点検状況を確認。	目標値	特に専門性の高い生物環境への配慮を図るため、 <u>学識者から指導・助言を求め事業執行に反映する。</u>	令和5年度実績	○自然公園区域内における事業など13事業を対象として、調査・設計・施工の各段階で、現場特性に応じた着目点の確認や、必要に応じて貴重植物の移植、構造物の仕様の工夫といった環境保全措置を講じる等、アドバイザーからの指導・助言内容を事業に反映させた。 ○過年度に実施した環境保全措置の効果を関係者で共有した。
目標値	各分野別計画の進捗状況の評価を活用するとともに、参考指標を確認するなどして進行管理を行う。														
令和5年度実績	4つの基本施策の柱ごとに、目標である「環境と経済・社会活動をつなぐ健全な循環の構築」に向けた進捗状況を総合的に点検した。結果は、環境審議会環境企画部会に報告するとともに、滋賀の環境（環境白書）へ掲載し県民や関係機関と共有した。														
目標値	「公共事業における環境配慮指針」を活用し、 <u>全ての事業で計画、設計、施工の各段階で点検を実施する。</u>														
令和5年度実績	○環境配慮指針に基づき、計画、設計、工事の各段階でチェックリストにて環境への配慮事項を点検した。 ○年度末に事業主管課にて、自然公園区域内における業務等308件を抽出し、発注機関における点検状況を確認し、全て目標値を上回った。 ○事業ごとに環境負荷の低減にかかる対策（生物の移動性への配慮をふまえた設計、在来樹木の保全等）を実施した。														
令和6年度実績見込み	○発注機関において、環境配慮指針に基づくチェックリストを活用して、点検を実施した。 ○点検を通じて、適宜、生物環境アドバイザーへの相談を行った。 ○環境配慮指針に関する研修を実施し、職員の環境に対する専門知識の向上を図った。 ○年度末に、事業主管課にて、発注機関における点検状況を確認。														
目標値	特に専門性の高い生物環境への配慮を図るため、 <u>学識者から指導・助言を求め事業執行に反映する。</u>														
令和5年度実績	○自然公園区域内における事業など13事業を対象として、調査・設計・施工の各段階で、現場特性に応じた着目点の確認や、必要に応じて貴重植物の移植、構造物の仕様の工夫といった環境保全措置を講じる等、アドバイザーからの指導・助言内容を事業に反映させた。 ○過年度に実施した環境保全措置の効果を関係者で共有した。														

令和6年度実績見込み	<p>○22事業を対象に、事業ごとにアドバイザーを選任し、取組方針等を共有した。</p> <p>○事業ごとに現地にて指導・助言をいただき、貴重植物の移植や、施工計画における施工方法や実施時期に関する配慮など、対応を実施している。</p> <p>○今後の全体会議において、事業への指導・助言内容の反映状況について情報共有を行う。</p>
------------	---

(3) 建設廃棄物の再生利用率の向上

	アスファルト・コンクリート塊 コンクリート塊	建設発生木材	建設発生土
目標値	再資源化率 99%以上	再資源化・縮減率 95%以上	有効利用率 80%以上
令和5年度実績	アスファルト・コンクリート塊 100% コンクリート塊 99%	100%	88%
令和6年度実績	アスファルト・コンクリート塊 100% コンクリート塊 99%	100%	84%

③基本方針3 環境に配慮した庁舎・施設管理や事務活動の推進

(1) グリーン購入の推進

物品【文具、紙、事務機器等】

目標値	100% (グリーン購入判断基準に基づく調達率)
令和5年度実績	92.52%
令和6年度実績見込み	89.55% (令和7年1月14日実績暫定値)

設備【太陽光発電システム】

目標値	100% (調達にあたってはすべて判断の基準を満たすこと)
令和5年度実績	100% (建築課所管分のみ)
令和6年度実績見込み	— (新規調達実績なし)

公共工事【資材、建設機械等】

目標値	事業ごとの特性や機能の確保に留意しつつ、積極的な調達を推進
令和5年度実績	「一般土木工事共通仕様書付則」により、積極的な調達を推進
令和6年度実績見込み	同上

役務【食堂、売店】

目標値	【食堂】生ごみの排出抑制・再生利用および食品ロス、ワンウェイプラ製容器等の使用削減等について適正な取組が行われるよう要請 【売店】ワンウェイプラスチック製品および容器包装廃棄物、食品ロスの排出抑制等の適正な取組が行われるよう要請
令和5年度実績	委託契約書に環境配慮の取組について明記 【食堂】生ごみの排出抑制・再生利用および食品ロス、ワンウェイプラ製容器等の削減取組を推進 ※廃食油回収：297ℓ 【売店】ワンウェイプラスチック製品および容器包装廃棄物、食品ロスの排出抑制等を推進 ※レジ袋辞退率：98.6%
令和6年度実績見込み	委託契約書に環境配慮の取組について明記 【食堂】生ごみの排出抑制・再生利用および食品ロス、ワンウェイプラ製容器等の削減取組を推進 ※廃食油回収：248ℓ（令和7年1月末実績） 【売店】ワンウェイプラスチック製品および容器包装廃棄物、食品ロスの排出抑制等を推進 ※レジ袋辞退率：98.7%（令和6年12月末実績）

(2) 省エネルギー、省資源およびごみの減量化の推進

	温室効果ガス (t-CO ₂)	<参考>	
目標値 基準：平成26年度 目標：令和12年度	50%削減	エネルギー 使用量 (GJ)	用紙購入量 (千枚)
(参考) 令和4年度実績	24.6%減 (129,552)	2,500,496	132,604
令和5年度実績	26.8%減 (125,837)	2,288,844	120,369
令和6年度実績	新年度に確定予定	新年度に確定予定	

④基本方針4 環境関連法令等の確実な遵守および環境汚染の未然防止

目標値	適切な環境管理マニュアルの作成率 100% 適切な環境汚染事故対応マニュアルの作成率 100%
令和5年度実績	○適切な環境管理マニュアルの作成率 100% ○適切な環境汚染事故対応マニュアルの作成率 100% ※上記マニュアルの改善指導：3所属
令和6年度実績見込み	○適切な環境管理マニュアルの作成率 100% ○適切な環境汚染事故対応マニュアルの作成率 100% ※上記マニュアルの改善指導：7所属

⑤基本方針5 職員の環境保全行動の推進

(1) 職員の環境保全行動の実施

目標値	職員の環境保全行動実施率 100%
-----	-------------------

令和5年度実績	環境保全行動を実施している職員の割合 91%
令和6年度実績	環境保全行動を実施している職員の割合 96%

(2) 各所属におけるプラスチックごみ削減行動の実施（令和元年度に追加）

目標	各所属でプラスチックごみ削減行動を推進する
令和5年度実績	プラスチックごみ削減行動を実施している所属の割合 100%
令和6年度実績	プラスチックごみ削減行動を実施している所属の割合 100%

2 知事、副知事のコメント

- ・副知事：なし
- ・知事：滋賀県庁環境マネジメントシステムの課題は何か。

（環境管理運営事務局回答）

県庁 EMS に係る各方針の取組は、全体的には概ね順調に推進されており、進捗に対する課題はないが、県庁の環境方針の進捗を測るために設定している目標については、近年、達成し続けているもの（例：方針5に基づく各所属のプラスチックごみ削減の取組は R5、R6 とも実施率 100%）もあるので、内容の再検討を行うべき段階になったと考えている。